

安心

おだきよん通信43号

安全

女性の県議会議員を増やして、現場の声を県に届けましょう！



おだ京子



鴻巣市議会議員 無所属

平成 21 年 10 年以上無事故無違反表彰
 // 県消防協会表彰
 24 年 地方自治功労賞受賞
 26 年 全国議長会 10 年表彰

本気で鴻巣を考えています！！
 少子・高齢社会の「今」
 政治に「女性」が必要です。

発行／京子フォーラム 編集／織田京子

市民相談事務所：鴻巣市鴻巣 1066-1 常久ビル 2F

TEL 048 - 543 - 8622 FAX 048 - 543 - 8625

ホームページ <http://odakyon.com>メール odakyon@amber.plala.or.jp

自宅 鴻巣市宮地 1-2-31

<略歴>

平成 14 年 市議初当選 (1 期目)
 平成 18 年 文教福祉常任委員会委員長 (2 期目)
 平成 19 年 市議会副議長 (3 期目)
 平成 21 年 議会運営委員会委員長
 平成 23 年 4 月、市議選 (4 期目) 当選
 平成 23 年 6 月「子ども達を放射能汚染から守る会」発足

- ・自民党鴻巣支部女性部長・親学アドバイザー資格
- ・日本舞踊、寿流師範 「座右の銘：継続は力なり」



初春のお慶びを申し上げます。
 皆様、お元気でしたか？ 風邪などひいていませんか？



・今年には私にとって躍進の年となりました。皆様のご支援のお蔭で、約12年間、市議会議員をさせていただいて居ります。市で出来ることはやって参りましたが、介護・医療・教育・子育て支援を根本から変えていくのは、政策をつくれる国や県でないと難しいと考えていました。

・今年から、県議会議員の枠が、合併後初めて川里地域が入り、2名となりました。自民党が県議会議員の公募をしましたので、応募させていただき1次審査と2次審査に合格して、**自民党の公認をいただくことができました。**

・現在、埼玉県議会の自民党には、女性の県議が1人しかおりません。これでは、少子高齢社会において、それらに携わってきた現場の声を届けることは難しいと思います。**子を育て、親の介護をし、「本当に必要な事」がわかるのは女性です。**その為に

●4月の地方統一選挙は、**県議選に出馬する**ことを決心し、市民の皆様にご報告させていただきます。

おだきょんの一般質問 議会に届け・市民の声！！

過去12年間で取り組んできた主なもの



●給食における食物アレルギーの事故防止対策

- ・食物アレルギーマニュアルを作ってくださいました。
- ・取り分け食もできるようになりました。

●小学校の給食は自校式に。暖かいものが食べられ、アレルギー対応もきめ細かにできます。

- ・市長の采配で全ての小学校が自校式になりました。給食もおいしいです。

●私の会派で「小中学校にクーラー設置の要望書」を教育長に持参

- ・小中学校にクーラーが付きました。90%以上の児童生徒から快適に勉強できると好評です。

●子宮頸がんワクチンの副反応が重篤です。市民への説明を依頼。

- ・担当課で市民へ積極的な推奨を差し控えてもらいました。「おだきょん通信」に警告文を掲載。結果、接種する方が10分の1に減少。副反応者を抑えることができました。

●障がい者の方の入院時の付き添いについて、痛くても不自由でも言葉に表せない障がい者の方に、普段からお世話している方の付き添いを病院で許可していただきたい。

- ・「鴻巣市障害者入院時コミュニケーション事業」が向上しました。

●「手話言語法」制定を求める意見書を、聴覚障がい者協会より依頼を受けま

して平成26年9月定例議会に提出しました。手話を日本語のように言語として認めることにより、どこでも誰とでも、聞こえない方達が意思の疎通をすることができます。その為には、手話通訳者を沢山育てていかなければならないという問題も出てきます。小学校から手話を教えていけば、無理なく手話ができるようになる事と思います。

- ・平成26年9月議会で議決されました。

鴻巣市でも意見書を国に出せた事を嬉しく思います。





なぜ県議会議員の選挙にでるの？

教育問題や医療の件、また子育て支援等は、交付金など県が担当になっているものが多く、県で決められることが多い。

今話題になっている総合病院の誘致の件もそうです。(今、県で決まっているのは1502床というベッド数の増床数だけです。今年の3月からの2次募集で1次募集で残ったベッド数で上尾中央病院は入札に参加できます。)

市議で出来る事には限界があります。

特に働きながら子育てをしている方の支援や、高齢化に伴う介護の問題、いじめや道徳教育、医療の充実等の「現場の声」を届けられるのは経験者である女性です！

鴻巣市でしている素晴らしい事業を県に持っていき、埼玉県どこに引っ越し、しても同じサービスが受けられるようにする、いわゆる事業の逆輸入を考えています。

また、介護の問題は多岐にわたるので、それぞれ個人に合わせたサービスの提供を。

何が必要か現場の声を届けます。



保育所は、働くお母さんが安心して預けられる質を最重要にしたものを。子どもが病気で、どうしても仕事を休めないときは、病児保育の利用も。(ヘリオス会病院内)



- 社会保障
- 医療の問題
- 介護
- 教育
- 子育て支援
- 地元の為の地方創生



市民相談は続けます！！

*市議だからわかる鴻巣市の現状

市内の問題の、痒いところに素早く手が届かなかったのは、市議経験者の県議がしばらくいなかったから。市議の経験を踏まえて、県で市の為の条例を制定します。

新生児訪問は、産まれて1か月の新生児のいるお宅を、助産師さんが訪問して、体重を量ってくれたり、新米ママの心配ごとなどの相談やアドバイスをしてくれる事業です。

新米ママにとっては、安心できると好評です。





ご報告



○平成26年1月に発行しました、「鴻友会」（私が所属する議会の会派）の議会報告の通信で、

『**鴻巣駅東口、ロータリーから松山新道踏切までの道路は、幅が6mから4.5mです。そこを2社の路線バスが行きかい、歩行者が大変危険な状況であり、怖い思いをした方が大勢おります。せっかく三谷橋大間線ができたのですから、そちらを**通って、少しでも交通の安全を守ってほしい。その為に、要望者の方とバス会社に交渉に行き、市の担当課の職員とも相談しましたが、バス会社に問題があり、なかなか変更にはいたしません。』

という報告をさせていただきました。



安心・安全
良かったね！

○それが、**昨年の秋ごろに、その通りは、東松山や川越から来るバスが行きだけ通り、帰りは三谷橋大間線を通して、帰っていくことに決まりました。**

バス会社に交渉に行ってから、1年かからずに、歩行者の安全と、道路沿いの家の振動が守られるようになりました。

○これには、その2年も前から、市に要望をだし、調べ、動いていた市民の方がいました。それ以上は、なすすべもなくあきらめかけていた時に、私の所に相談にいらっしやいました。「これは、やらなきや議員ではない。」と思い、お手伝いさせていただきましたが、**市民の方の熱意と継続が実現した1件**です。

○何事もあきらめてはいけません。なせばなるのです。私が実現してきた市民の方からの要望は、やや強引に推し進めたものが多いです。

自分の為ならできないのに、市民の為なら何でもできてしまう自分が不思議です。

○今年は末年です。優しさと従順さがある羊のように平成27年は、皆さんと一緒に良い方向に向かって群れていきたいと思えます！

おだきょんに対する要望 (vol.33) 一人で悩まずに相談に来てください。随時・無料
個人情報に関するものや、個人的な相談事は載せていません。

<市民さん 複数人> 道路の浸水。道路の水はけが悪い。道路にあいた穴の補修。交通標識の設置。防犯灯の新設。児童のいじめの問題。

<おだきょん> それぞれ担当課に申請して解決しました。
いじめの問題は、簡単には解決できる問題ではありませんし誰にでも起こるものです。**子どもをどんな人間に育てていくか、というところに根本的な解決策**があるような気がいたします。平成26年12月議会で、「**鴻巣市いじめ問題対策連絡協議会等条例**」が施行されました。この条例が市にあることにより、少しずつ、いじめが減ってくれればと願いますが、家庭教育における**親の子どもに対する愛情の深さ**が、いじめない子どもを育てる鍵だと思います。